

山形県退職者連合 2024年度主な活動紹介

1. 山形県退職者連合は、6月11日に組織代表者会議を開催し、①組織の現状 ②会員拡大に向けた取り組み状況 ③ジェンダー平等への取り組み ④組織の課題 ⑤現職労働組合の退職者会に対する理解、等について話し合い、今後も会員の拡大と組織強化に取り組むことを確認しました。

組織拡大はなかなか進みませんが、自治労退職者会に加盟する戸沢村職労退職者会と連合山形退職者会が新規加入しました。

2. 最低賃金の大幅引き上げをめざし、連合山形で展開している「署名活動」に今年度も取り組み、連合山形全体で42,779筆、うち県退連としては3,150筆の集約となり、気運の醸成をはかりました。山形県の最低賃金は、昨年度より55円アップの955円となりました。

2. 8月28日、「2024山形県退職者連合集会」を大手門パルズで開催し、140名が参加しました。集会では、①山形県への政策制度要請の取り組み ②解散総選挙、県知事選挙、参議院選挙で連合山形推薦候補者の必勝をめざして取り組む ③組織拡大強化とジェンダー平等の取り組みを一層推進させる ④社会保障の「制度・政策要求運動」を各県退職者連合と共に展開していくことを確認しました。集会の第2部として、社会保険労務士の木根淵隆氏から「遺族年金制度の概要について」と題して講演をしていただきました。

4. 「健康保険証廃止の撤回を求める」請願活動について、これまでどおりの健康保険証を発行するよう、7月1日に県議会に請願書を提出しましたが、厚生環境委員会で否決され、再度本議会に提出しましたが否決されました。引き続き、継続を求める活動を進めます。

5. 7月25日、2024年度「県への政策・制度要請」を行い、三澤会長より山形県健康福祉部高齢者支援課長に要請書を手交しました。要請内容は、①高齢者の地域移動手段の保証と安全の確保 ②高齢者世帯の住居移転等に要する経費助成について ③自然災害の復旧状況と避難計画について ④ジェンダー平等についてなど全部で11項目の内容としました。

10月17日、「山形県と山形県退職者連合との懇談会」を開催し、要請内容に対して、県の担当所管から回答をいただき、意見交換を行いました。

県退連からは17名の役員が出席し、熱心な議論が交わされました。

以上